

MAIL MAGAZINE

メールマガジン

もうすぐ冬季北京五輪ですね！

JSC 貿易部ニュース 中国編

師走の折、皆様におかれましては、ますますご活躍のことと、お喜び申し上げます。

12月に入り、今年も残りわずかとなりました。2021年は新型コロナ、コンテナ不足による船の遅延、福建省や大連でのコロナ騒動…と慌ただしい一年でありました。来年こそはコロナも終息し、以前のような日常が送れるものと信じております。

さて、早期に解消して欲しいと願う船の遅延ですが、今後も中国からの物品の輸入プロセスが滞る不安は残ります。今月はそれらの要因について解説していきたいと思えます。



1. 冬季のエネルギー不足

中国では、家庭の暖房向け需要が最も高まる冬に向かいつつあるなかで、季節要因によるエネルギー不足に陥りつつあります。報じられているところによると、中国の製造業は、電力供給の制限、さらには完全な供給停止にも直面しています。中国政府は、石炭増産の許可に踏み切るなど、状況の改善に向けた取り組みを行っていますが、対応の遅れは否めないとの事。発電能力が通常レベルに戻るまで、ある程度の時間がかかる可能性があるでしょう。

2. 春節（旧正月）の到来

春節（旧正月）前後の連休については、過去2年の状況は今回よりも複雑でした。コロナ禍のもとで、人の移動は厳しく制限されていましたが、一部製造業の工場は操業を継続していたからです。2022年の春節に際し、中国当局が国内移動をどの程度まで許可するかは不明ではありますが、ただし、この2年間、満足に移動できなかったことにより、旅行需要は高まってきています。こうした動きに押されて、一部地区の製造業が比較的長期の操業停止に踏み切る可能性は無きにしもあらずです。

3. 冬季五輪の開催

前回中国が五輪を開催した2008年夏、中国政府は全土にわたって多くの製造施設に休業を命じる施策を実施しました。工場から発生する汚染物質を減少させ、五輪に出場するアスリートにきれいな空気を提供するとともに、世界により良い印象を残したいとの意図に基づいたものでした。中国とビジネスを行っている複数の企業からの報告から判断すると、中国政府は冬季五輪の開催を前に、前回と同様の施策を実行する可能性があるとの事です。2022年の冬季五輪は2月4日から、2008年の夏季大会と同様に北京で開催されます。今大会は真冬開催というタイミングを考えると、前回よりもかなり難しい規制になる可能性もあります。この時期、中国は電力のかなりの部分を、石炭を燃料とする火力発電に依存しているからです。

冬季五輪の開催時期は、意図的に春節（2022年は2月1日）前後の連休と同時期に設定されたことは間違いないでしょう。製造業は、春節に伴う休みの前に増産を実施するのが通例ですが、2022年は、エネルギー不足と冬季五輪という2つ阻害要因があるという事です。



また、オリンピックの開催時期の話になりますが、北京冬季オリンピックの開催期間は2022年2月4日から20日までです。スキー、スケート、アイスホッケー、バイアスロンなど、大きく分けて7つの競技があり、さらに分類すると15の競技、109種目となって、計109枚の金メダルが用意されます。

その後、3月4日から13日までは北京冬季パラリンピックが開催されます。こちらは

アルペンスキー、バイアスロン、クロスカントリー、アイスホッケー、車椅子カーリングなど6競技78種目で計78枚の金メダルが争われます。試合会場は北京市内と、北京郊外の延慶区、そして河北省の張家口市の3カ所に設置されます。

オリンピック・パラリンピック開催中の2/4～3/13までは、中国国内においても厳しい規制等行われる可能性もございますので、引き続き注意が必要です。

【今月の石種情報】

コロナ等の影響もあり、新しい石種のご紹介がなかなか出来ない状況ですが、今回はこちらの石種のご紹介です。

「中国RB」 産地：中国福建省泉州市



吸水率は「G623」と同等程度で、長物は10尺くらいまで、天板材4尺角以上取ることが可能です。

黒玉が少しありますが、大きなものは避けて生産が可能です。

材料を限定50㎡確保しました。価格に関しては、以前よりお求め安くなっておりますので、色物の墓石・外柵にいかがでしょうか。





今月のメルマガはここまでとなりますが、このままコロナ終息！になればいいですね！

何かとお忙しい時節柄とは思いますが、くれぐれもお体にお気をつけ下さいませ。
来年もこれまでと変わらぬご支援ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

2021/12/01